

2025年度第8回臨時教育研究審議会議事録

日 時	2026年3月11日（水）10:36～12:09
場 所	本部棟 大会議室
出席者	<p> 神山議長（学長）、鈴木委員（学部長）、大矢委員（研究科長） 金子委員（図書館長）、生田委員（地域連携センター長） 藤沼委員（学部教授会選出）、三浦委員（学部教授会選出） 青山委員（研究科教授会選出）伊藤委員（事務局長） [委任状：佐藤委員（理事）] </p> <p style="text-align: right;">【10名全員出席】</p>

【会議概要】

定足数	○定款第23条第5項により成立。
【審議】	
案件①	<p>令和7年度補正予算について</p> <p>○財務情報管理TLから、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p>
案件②	<p>令和8年度年度計画について</p> <p>○総務企画GLから、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p>
案件③	<p>令和8年度当初予算について</p> <p>○財務情報管理TLから、資料に基づき説明があった。</p> <p>○藤沼委員から、資料中別冊3右下の重点項目にある地域連携センターフロアの環境整備について、場所の確認があった。</p> <p>○財務情報管理TLから、大学院棟1階のスペースであるとの説明と、資料についてもわかりやすいように補足修正する旨の説明があった。</p> <p>○三浦委員から、資料③-2支出項目「教育研究支援経費」中、図書館経費の紀要等刊行の222千円について、冊子体を印刷するための予算であるかとの質問があり、最近は紀要がPDF化してきており、冊子を出さずにホームページを充実させて、ホームページで確実にPDFがダウンロードできるという形にしている大学が増えているので、それほど大きな額ではないが、将来的に印刷冊子体にする経費を別のところに回して、紀要自体は継続させることを検討</p>

	<p>してほしいとの意見があった。</p> <p>○財務情報管理 T L から、ペーパーレス化の流れになっている中、一例として、入試のインターネット出願に関しては、募集要項の印刷がなくなることで経費節減が図られ、差し引きで実はプラスになっているという部分もあり、そういった見直しについても順次進め、そこで浮いた経費を、もっと本質的な、厚くやるべきところに振り分けていくということを心がけていきたいとの説明があった。</p> <p>○青山委員から、資料中、重点項目別の主な取り組みの「教職員・学生による地域貢献活動の推進（拡充）の後の括弧書に、後援会の予算がまだ審議されない中で、後援会から支援予定と記載されていることについて確認があった。</p> <p>○財務情報管理 T L から、資料について支援依頼予定とする旨の説明があった。</p> <p>○審議の結果、一部修正のうえ、承認された。</p>
<p>案件④</p>	<p>2026年度兼任研究員の決定及び地域貢献研究活動等推進費の配分案について</p> <p>○地域連携 T L から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p>
<p>案件⑤</p>	<p>ボランティア活動支援について</p> <p>○地域連携 T L から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○藤沼委員、三浦委員、青山委員から、対象となるボランティアの定義、保険加入や表彰制度について質問があった。</p> <p>○地域連携 T L から、大学として認めるボランティアの基準について、現段階では明確ではないが、危険を伴う作業、報酬が払われるものなど、大学として総合的にボランティアとして認められるかどうかを判断していくとの説明があった。また、ボランティアに伴う保険加入について、全学生が加入している学生教育研究災害保険（学研災）の適用範囲が、自身の怪我だけを対象にしており、相手に怪我をさせたり、物を壊したりというのは対象にならないことから、その辺も学生にきちんと説明し、必要に応じて各自ボランティア保険加入をしてもらうことを想定しているとの説明があった。1年を通してやってみて、様々なケースが出てくると考えられるため、様子を見ながら、先生方からも質問やご意見をいただきながら随時検討していく旨の説明があった。</p>

<p>案件⑥</p>	<p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p> <p>青森公立大学大学院特待奨学生継続審査の選考委員会設置について</p> <p>○大矢委員（研究科長）から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p>
<p>案件⑦</p>	<p>大学院における成績評価疑義申立制度の周知について</p> <p>○大矢委員（研究科長）から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p>
<p>案件⑧</p>	<p>アドミッション・ポリシーの修正について</p> <p>○大矢委員（研究科長）から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○三浦委員から、博士後期課程の求める学生像について、地域に関する言葉が全くないが、地域学を学んだ学部の学生が博士まで取れるようなシステムにカリキュラムを含めて変更することを、今後検討されているかとの質問があった。</p> <p>○大矢研究科長から、現在の学則、履修規程に従って作るものであり、今後、大学、大学院を改組していくということになれば、当然変更することになると思うが、今回の議題ではないとの説明と、本学は経営経済学部であり、地域みらい学科の学生も経営学、経済学をきちんと基礎論で学んでいることから、現行制度においても、地域みらい学科の出身の学生が後期課程まで進学できないということはないと考えるとの説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p>
<p>案件⑨</p>	<p>2026年度戦略的研究助成事業の申請について（公募型・指名型提案）</p> <p>○神山議長（学長）から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p>
<p>案件⑩</p>	<p>青森公立大学における生成AIの利用に関する基本的な考え方について</p> <p>○神山議長（学長）から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p>
<p>案件⑪</p>	<p>教員職員の公募について</p> <p>○神山議長（学長）から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p>

